



2019年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年4月26日

上場会社名 株式会社キングジム 上場取引所 東
 コード番号 7962 URL https://www.kingjim.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮本 彰
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営管理本部長 (氏名) 原田 伸一 (TEL) 03-3864-5883
 四半期報告書提出予定日 2019年4月26日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年6月期第3四半期の連結業績(2018年6月21日~2019年3月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第3四半期	25,153	△1.2	997	△34.1	1,202	△27.2	811	△29.9
2018年6月期第3四半期	25,456	1.0	1,514	25.2	1,652	24.1	1,158	36.6

(注) 包括利益 2019年6月期第3四半期 667百万円(△55.7%) 2018年6月期第3四半期 1,506百万円(28.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期第3四半期	28.56	28.45
2018年6月期第3四半期	40.77	40.64

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年6月期第3四半期	29,669	21,862	72.4	756.01
2018年6月期	26,979	21,659	79.0	749.90

(参考) 自己資本 2019年6月期第3四半期 21,487百万円 2018年6月期 21,314百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年6月期	—	7.00	—	10.00	17.00
2019年6月期	—	7.00	—		
2019年6月期(予想)				7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年6月期の連結業績予想(2018年6月21日~2019年6月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	0.6	1,450	△24.2	1,700	△18.6	1,200	△14.5	42.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2019年6月期3Q	32,459,692株	2018年6月期	32,459,692株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2019年6月期3Q	4,037,227株	2018年6月期	4,037,227株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2019年6月期3Q	28,422,465株	2018年6月期3Q	28,422,628株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、好調な企業収益を背景に、設備投資の持ち直しや、雇用・所得環境にも明るい兆しがみられるなど、景気は緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、国際的な通商問題や海外経済の不確実性等により、先行きの不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループでは数多くの新製品を発売し、新たな市場の創出と獲得に注力してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は251億5,319万円（前年同期比1.2%減）となりました。利益面では、のれんの償却額が減少したものの、運賃や賃借料等の増加により、販売費及び一般管理費が増加したため、営業利益は9億9,782万円（前年同期比34.1%減）、経常利益は12億275万円（前年同期比27.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億1,184万円（前年同期比29.9%減）となりました。

2018年12月には、キングジムグループ各社の商品を集めた展示イベント「キングジムフェア2018」をベルサール秋葉原にて開催いたしました。今回で3回目の開催となりましたが、前回同様に2万人を超えるお客様にご来場いただき、当社グループ商品をご体感いただくことができました。

今後も、このようなイベントを通じて市場への一層の浸透を図り、需要の拡大に取り組んでまいります。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 文具事務用品事業

ステーショナリーにおきましては、シンプルなデザインの文房具シリーズ「HITOTOKIスタンダード」を発売した他、たおれないペンケース「オクトタツ」や、フリーアドレスなど、社内での移動に適したワークツール「フリオ」シリーズを発売いたしました。

電子製品におきましては、「テブラ」PROシリーズに、オフィス向けエントリーモデルSR370を発売いたしました。その他、コンパクトなふせんサイズの「ブギーボード」BB-12や、2014年の発売以来、高いご支持をいただいている「デジタル耳せん」に、本体とケーブルを一体型にし、スペックアップを図った新モデルMM2000を発売いたしました。オフィス環境改善用品では、超大型液晶のデジタル時計でタイマーとしても使用できる「ガラージタイマークロック」や、自動手指消毒器「テッテ」を発売いたしました。

この結果、新製品は好評であったものの、主力の厚型ファイルの販売減等により、売上高は194億9,748万円（前年同期比1.3%減）、営業利益は、売上原価率の上昇や、販売費及び一般管理費の増加により9億6,056万円（前年同期比32.3%減）となりました。

② インテリアライフスタイル事業

㈱ぼん家具では、収納家具や機能性こたつのほか、春の新生活需要に向けた商材を拡充いたしました。また、楽天市場、Amazon、Yahoo!ショッピングの各モールにおいて、各種セールやクーポンの発行、クリック課金型広告を活用し、売上高の増強に努めました。㈱アスカ商会では、高品質なアーティフィシャル・フラワーの商品拡充を図ると共に、季節需要に合わせたパンフレットを配布いたしました。㈱ラドンナでは、Toffyブランドの更なる展開・強化として、主力のキッチンカテゴリーに加え、クリーナーや時計などのライフスタイルカテゴリーの新商品投入を行いました。フォトフレーム事業においては、近年販売好調な低価格ラインの商品を中心に、拡充・強化いたしました。

この結果、㈱ぼん家具の売上高は前年同期比で増加したものの、㈱ラドンナと㈱アスカ商会の売上高は前年同期比で減少したため、インテリアライフスタイル事業全体の売上高は56億5,571万円（前年同期比0.8%減）、営業利益は、運賃や賃借料等の増加による販売費及び一般管理費の増加により2,367万円（前年同期比68.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して、26億9,013万円増加し、296億6,983万円となりました。これは主に、投資有価証券が減少した一方で、受取手形及び売掛金や商品及び製品、現金及び預金が増加したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して、24億8,664万円増加し、78億723万円となりました。これは主に、短期借入金や支払手形及び買掛金が増加したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して、2億349万円増加し、218億6,259万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が減少した一方で、利益剰余金が増加したことによるものであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年1月29日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年3月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,702,798	5,544,568
受取手形及び売掛金	4,839,842	5,543,306
商品及び製品	5,681,827	7,148,600
仕掛品	414,027	408,935
原材料及び貯蔵品	1,293,285	1,447,728
その他	461,395	521,615
貸倒引当金	△2,517	△1,853
流動資産合計	17,390,659	20,612,901
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,714,854	5,714,929
減価償却累計額	△3,330,980	△3,440,529
建物及び構築物(純額)	2,383,873	2,274,400
機械装置及び運搬具	2,647,322	2,671,151
減価償却累計額	△2,171,579	△2,282,387
機械装置及び運搬具(純額)	475,742	388,763
土地	1,667,180	1,667,180
建設仮勘定	19,034	38,436
その他	2,743,906	2,810,940
減価償却累計額	△2,470,100	△2,538,427
その他(純額)	273,806	272,512
有形固定資産合計	4,819,637	4,641,292
無形固定資産		
その他	355,703	339,800
無形固定資産合計	355,703	339,800
投資その他の資産		
投資有価証券	2,663,327	2,355,084
退職給付に係る資産	1,094,760	1,130,648
繰延税金資産	197,939	179,748
その他	465,966	414,655
貸倒引当金	△8,297	△4,298
投資その他の資産合計	4,413,696	4,075,838
固定資産合計	9,589,037	9,056,931
資産合計	26,979,696	29,669,833

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年3月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,983,097	2,722,874
短期借入金	—	1,920,000
1年内返済予定の長期借入金	16,000	—
未払法人税等	363,042	259,838
未払金	803,673	625,694
役員賞与引当金	31,136	22,530
その他	789,639	963,160
流動負債合計	3,986,589	6,514,099
固定負債		
繰延税金負債	677,454	606,372
退職給付に係る負債	363,252	385,968
資産除去債務	20,937	21,072
その他	272,359	279,724
固定負債合計	1,334,004	1,293,138
負債合計	5,320,593	7,807,238
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,978,690	1,978,690
資本剰余金	2,507,159	2,507,159
利益剰余金	20,027,025	20,355,685
自己株式	△3,567,808	△3,567,808
株主資本合計	20,945,067	21,273,727
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	899,770	684,495
繰延ヘッジ損益	435	231
為替換算調整勘定	△390,540	△372,779
退職給付に係る調整累計額	△140,628	△98,059
その他の包括利益累計額合計	369,037	213,887
新株予約権	70,847	89,569
非支配株主持分	274,150	285,410
純資産合計	21,659,102	21,862,595
負債純資産合計	26,979,696	29,669,833

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年6月21日 至 2018年3月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月21日 至 2019年3月20日)
売上高	25,456,689	25,153,190
売上原価	15,426,703	15,388,183
売上総利益	10,029,985	9,765,007
販売費及び一般管理費	8,515,238	8,767,183
営業利益	1,514,747	997,823
営業外収益		
受取利息	8,011	9,758
受取配当金	40,884	47,093
為替差益	—	27,200
受取賃貸料	115,009	119,198
その他	22,001	45,576
営業外収益合計	185,907	248,827
営業外費用		
支払利息	6,434	3,684
為替差損	152	—
賃貸収入原価	35,335	35,946
その他	6,537	4,264
営業外費用合計	48,461	43,896
経常利益	1,652,193	1,202,755
特別利益		
固定資産売却益	169	754
特別利益合計	169	754
特別損失		
固定資産除却損	5,937	8,271
特別損失合計	5,937	8,271
税金等調整前四半期純利益	1,646,425	1,195,238
法人税、住民税及び事業税	435,553	348,747
法人税等調整額	39,692	22,844
法人税等合計	475,246	371,592
四半期純利益	1,171,179	823,646
非支配株主に帰属する四半期純利益	12,406	11,804
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,158,772	811,841

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年6月21日 至 2018年3月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月21日 至 2019年3月20日)
四半期純利益	1,171,179	823,646
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	328,733	△215,275
繰延ヘッジ損益	△1,062	△203
為替換算調整勘定	21,231	17,216
退職給付に係る調整額	△13,915	42,568
その他の包括利益合計	334,986	△155,694
四半期包括利益	1,506,165	667,952
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,479,917	656,691
非支配株主に係る四半期包括利益	26,247	11,260

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2017年6月21日 至 2018年3月20日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	文具事務用品 事業	インテリア ライフスタイル 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,756,082	5,700,606	25,456,689	—	25,456,689
セグメント間の内部売上高 又は振替高	54,838	101,235	156,074	△156,074	—
計	19,810,920	5,801,842	25,612,763	△156,074	25,456,689
セグメント利益	1,419,644	76,235	1,495,880	18,866	1,514,747

(注) 1. セグメント利益の調整額 18,866千円は、セグメント間取引消去に伴う調整等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2018年6月21日 至 2019年3月20日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	文具事務用品 事業	インテリア ライフスタイル 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,497,480	5,655,710	25,153,190	—	25,153,190
セグメント間の内部売上高 又は振替高	51,826	140,694	192,521	△192,521	—
計	19,549,306	5,796,404	25,345,711	△192,521	25,153,190
セグメント利益	960,564	23,674	984,239	13,583	997,823

(注) 1. セグメント利益の調整額 13,583千円は、セグメント間取引消去に伴う調整等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。